

おかだ耕一

後援会会報
No.28
2005.10.20

http://www.ko1.org/ E-mail:okada@ko1.org

発行/おかだ耕一後援会事務局

豊田市宝来町4-758-141

TEL/090-1752-7529 (番号通知のみ受信)



指摘をする勇氣と責任

残念ながら郵政一色だった衆議院選挙や事故もなく良かったと安堵している愛・地球博も終わり、すっかり秋らしくなりましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。日ごろは議員活動、後援会活動に対し、格別なるご理解、ご支援を賜りありがとうございます。

さて、豊田市議会9月定例会は、9月9日から30日までの会期で開催され、まちづくり基本条例、地域自治区条例の制定や多くの財産の取得案件など重要な審議がされ、上程議案の全てが可決されました。また、16年度の税金の使用が適切であったかどうかを審査する決算特別委員会も設置され、私も委員として旧町村地区を含め、全市の決算審査を行い、多くの指摘をいたしました。とくに藤岡地区の温泉開発問題、第2中学校の建設問題、足助地区の光ファイバー問題に対しては、税負担の考え方や見通しの甘さ等を厳しく指摘し、新市の中の位置づけ等も確認いたしました。

豊田市も合併して半年ほどが経過しましたが、新市になっても『良いことは良い。悪いことは悪い』と、しっかり指摘し、提言できる議員を目指し頑張っています。今後とも変わらぬ指導、ご鞭撻、よろしくお願い申し上げます。

豊田市議会議員 岡田耕一

朝日新聞 平成17年9月17日付

第2藤岡中用地買収問題 豊田市議が 住民監査請求

旧藤岡町が第2藤岡中学校用地などとして買収後、同町を合併した豊田市がこの場所への建設を断念した問題で、豊田市議3人が16日、必要がなく問題のある土地を買ったのは違法」として鈴木公平市長に買収にかかった3億9400万円余りを市に返還するよう求める住民監査請求を市監査委員に行った。

請求したのは、篠田忠信、外山正孝、岡田耕一の3氏。3氏は「産業廃棄物などが埋められているとの情報がありながら旧藤岡町が購入したのは、地権者に対して有利な特別扱いをしたものと考えられる」と主張している。

問題の土地は同市深見町の約11ヘクタール。住民による第2藤岡中建設検討委員会が先月、環境面の不安などから、建設地とすることへの反対を決定。市教委は新しい候補地を探している。市は購入地を他の公共用地への転用を検討しているが、地質調査で有害物質が確認されるなど売り主の重大な責任が明らかになった場合は「買い戻し請求も検討する」としている。

とよた市民の会 無料法律相談のご案内

開催日/11月12日(土)・12月10日(土)
時間/いずれも午後1時30分～3時
場所/豊田産業文化センター4階

弁護士に無料で相談できます。予約制ではありませんので、しばらくお待ちいただくことがあります。ご了承下さい。あわせて、行政相談も実施しておりますのでお気軽にお越し下さい。

お問合せ 豊田市議会議員 おかだ耕一 090-1752-7529

市民講座のお知らせ「終末医療(緩和ケア)を考える」

市政改革とよた市民の会(代表:おかだ耕一議員)からのお知らせ
と き:平成18年2月4日(土) 14時より(受付13時30分～)
ところ:市民活動センター 研修室(松坂屋9階)
講師:医療法人財団愛泉会 愛知国際病院 理事長 川原啓美先生
資料代:300円

小林おさむの ちよつと一言



自民党300議席の悪夢

投開票日から明けた9月12日、自民党圧勝の結果を知ったとき、確か、過去にも似たようなことがあったと思った。それは、中曽根政権下の1986年の七夕・衆参同時選挙であり、自民党は衆院で300議席を得た。

似ているのは、選挙結果だけではない。まず、政策立案の手法。中曽根首相は、個別政策ごとに諮問委を乱立させ、その結論で世論の動向を見た。小泉首相が、経財諮問会議でまず「骨太の方針」なるものをぶちあげるのも酷似している。つぎに、どちらも公務員を「世論の敵」に仕立て上げることに成功した。小泉郵政民営化論は言うまでもないが、中曽根首相も行財政改革論で地方公務員叩きを手がけ、何よりも国鉄民営化を仕上げた。さらに言えば、両

者の中に規制緩和論と国家主義的発想とが共存しているのも酷似している。

さて、圧勝後の中曽根政権は、何をもたらしたか。国鉄民営化の問題点はさておくと、規制緩和の名の下にリゾート法を成立させて、全国各地の美しい自然を観光資本の食べ物にしたことは、とりかえしのつかない罪科であった。そして、圧勝後の小泉政権は、何をもたらすのか。毎年30兆円を超える国債を発行しなければ予算が組めない国家財政で、その国債の大半を買い支えてきた郵貯・簡保を民営化することで、一体何が起こるのか。「小泉構造改革」によって、急激な二極分化が進行し、「負け組」の老後の糧とも言える郵貯は、1999年をピークに、払戻超過による急激な縮小過程にあり、それは団塊の世代のリタイアによってますます加速されるに違いない。

小泉政権は、「勝ち組」の典型である多国籍企業の栄華と、国家財政の破綻とともに退場するのであろうか。

(元愛知県議会議員 小林おさむ)

1、幼稚園の民間移管について

(答弁は中根子ども部長)

私は、市が進める民間移管計画に対して、当初より、『行政コストが削減でき、教育・保育の質、サービスが向上するなら賛成だが、あまりに性急に計画を進めるのではなく、モデル園での様子を見て慎重に進めるべき』と主張してきた。

そこで、今年度、移管され、半年ほど経過した青木、ひらしば、両幼稚園を例に挙げ、質問する。私は両園の現在と市立園時代にお子さんを通園された経験のある保護者にアンケートをお願いし、青木幼稚園38名、ひらしば幼稚園24名の方々に回答をいただいた。その回答をもとに現状を確認し、より良い教育・保育の実現を求め、質問する。

これでいいのか!青木幼稚園

質問 青木幼稚園では、5月に園長先生が退職されて以来、専任の園長不在で9月に入っても理事長が園長を兼任されている。移管法人募集要項では、園長は専任であることが謳われているが、この人事をどう認識しているのか。



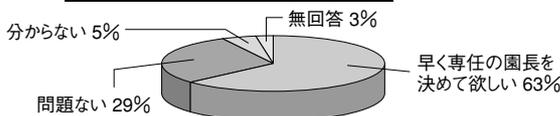
未だ専任の園長が決まらない青木幼稚園

答弁 理事長と園長の兼務は移管条件で規制していない。

質問 理事長職や他の役職を兼務しても問題はないという答弁。確かに私が行ったアンケートでは、「理事長が園長として毎日、園に来られることは結果として良かったと思う」という声もあったが、38名中24名が早く専任の園長を決めて欲しいと言っている。この声にどう応えるのか。

答弁 園長は園運営の要であり、極力、園で勤務するよう指導している。園長が退職されたときには、早急に専任の園長を決めて欲しいとお願いした。

理事長の園長兼務について



保育サービスの後退では?

移管法人募集要項では、「豊田市立幼稚園に準じて子育てひろば事業、3歳児サークル、施設開放等を実施するなど、地域の子育て支援に寄与するとともに、地域に開かれた園づくりに努めること」と明記されている。

質問 市立園時代の青木幼稚園の子育てひろばは、毎週実施され、定員の制限はなく、住所、氏名を記入すれば、親子が園庭で自由に遊具も使って遊ぶことができたと言っている。しかし現在は、月に1、2回の実施で、未実施の月もある。定員は15名。3日前までに申し込みをしなければならぬ。これでは、市立園時代と比べ、明らかに保育の後退だと思う。この状況をどうみるのか。

答弁 移管後、まだまだ地域にとけ込んでいない状況。努力はされている。子育てひろば事業は、自由に過ごしてもらうのが本来だが、まだまだそこまで至っていない。手続き的な煩わしさの指摘も受けている。

これでいいのか!ひらしば幼稚園

質問 ひらしば幼稚園では、子育てひろば、3歳児サークル、施設開放が未実施である。この状況をどうみるのか。

答弁 子育てひろば事業は実施されていない。在園児の

安定した保育を優先し、今後、事業開始に向けた準備を進めている。いずれにしても未就園児の重要な子育て支援策のひとつであり、早期実施に向けて協議していく。



移管後、平芝幼稚園がひらしば幼稚園に名称変更

3歳児サークルについては「金額が高い」という声や施設開放については、次のような声がある。

「施設開放は積極的にしていない。あまり外部の人が来園することを望んでいない様子」「休日に門が施錠されているため、遊べなくなった」「以前は土・日・平日の午後に遊具で遊ばせてもらいましたが、今は施錠されていて、無理なので、開放検討願います」「幼稚園が終わり、迎えに行っても、まだ遊び足りない様子です。幼稚園側は、早く帰ってほしいと放送が入り、遊べません。今まで遊んでいたため、子供には理解できないようです」

これらを市として、しっかり働きかけて欲しいと注文した。

市はもっと現状の把握を!

質問 市は、17年度に視察と保護者アンケートを実施することになっている。両園での視察、アンケートの結果は。

答弁 保護者アンケートはまだ実施していない。必要に応じ、随時、訪問、指導している。いろいろな問題が発生している点は聞いている。法人からも問い合わせが来ている。いい園にしたい気持ちは法人も市も同じである。年末までには、青木・ひらしば、両幼稚園でアンケートを実施する予定。

質問 市では、アンケートも未実施だが、私が行ったアンケートには多くのご意見、ご要望等が届いている。市では、保護者の声をどのように把握し、対応しているのか。

答弁 移管園の視察は必要に応じて随時、訪問指導を実施。現場視察以外にも日々、電話、窓口等で保護者、法人から園運営に関する情報提供や相談があり、指導・助言を行っている。

アンケートではこんな回答があった。「夏休みにお泊り保育があり、子どももすごく喜び、いい思い出ができた。市立でもやったらどうでしょうか」という声や「今の先生方はとても頑張っています」と評価する声も多数あった。しかし、市に対して「民間移管したから関係ないではなく、協力する姿勢をもっととっていただきたい」「市は民間に移管したからそれで終わり、そんな風に見受けられます。そんな市に何か言ってもものれんに腕押しのような気がして意

見を言うことさえイヤになります」「今回のように突然、園長がいなくなった場合、市の方で、もっとフォローしてほしい」「18年度は帽子とバッグが新しいものになると願書に書いてあった。急にいろいろ変えないと理事長は言っていたのに最初の説明と違う」等々、本当に多くの意見がある。

質問 市はこれらを把握していないのか。これらの声に対して市は法人にどう対応する予定か。また、市立園時代に購入し、無償貸与している三輪車やおもちゃ類が減っているという声もある。同じ法人の他の園に回っているのではないかと噂も出ている。これを事実無根であるとしかり保護者の方に説明すべき。

答弁 遊具等については、そのような事実はない。園長と触れ合う機会が少ないこと、公立と違うのではないかなど、いろんな意見をいただいているが、そうした声のひとつひとつを謙虚に受け止め、解決に向け、努力している。

市立園と私立園の大きな保護者負担格差

市では、市立園と私立園の間で授業料の保護者負担に格差がないよう私立園の就園に対して就園奨励費補助制度を設け、今後も継続すると言っている。しかし、多くの私立園では、入園検定料(2~3,000円程度)や入園申込金(2~5万円程度)を保護者から徴収。さらに毎月の保護者負担として、授業料以外に教育充実費、教育協力費、施設維持費等も徴収。ひと月あたりの保護者負担は市立園よりも6,000円程度多いのが現状。

質問 幼稚園の民間移管は一園あたり年間、約5,000万円の削減効果があり、その経費を延長保育などの多様なニーズに対応していることは評価する。しかし、経費削減による保育の質、サービス低下は許されない。また、他の保育サービスが市立園時代と比べ、高くなったり、今後、入園申込金が必要となる。言い換えれば、市の経費削減は、保護者からの負担増によって実現されると考えられる。この点をどう考えるのか。

答弁 現在、移管園に限らず私立園には授業料は就園奨励費補助制度を設け、保護者負担に格差がないように

している。その他については、在園児は負担増はないが、新入園児は負担増が出るのは事実。保護者も3歳児の受け入れができる、特色ある保育の提供ができる、など、新しい分野を期待していると認識している。

新たな補助制度を

質問 民間移管したことにより、市は経費削減できる。しかし、保護者の負担は増えるが、自ら受けるサービスは低下する。これでは、保護者は納得できない。そこで、保護者負担を増やさないために、経過措置だけでなく、継続的に市が入園申込金を負担する、もしくは、移管条件として入園申込金や施設維持費も徴収させないなど、保護者負担を軽減する考えはないのか。

答弁 2園だけの問題ではなく、市内の私立園全体の問題であり、総合的に新たな助成制度の仕組みを考えたい。保育料、授業料の見直しに合わせ、検討する時期に来ていると感じる。

今後の民間移管計画は

質問 保護者から様々な意見があるなか、移管計画を見直すべきと考えるが、所見を。また、21年度から30年度までは幼稚園3園を移管する計画だが、見直しも含め、21年度以降の計画をどのように考えているのか。



H20年度に民間移管予定の東丘幼稚園

答弁 20年度の移管園は18年度に法人選考する花園、東丘の2園。幼稚園の設置許可は愛知県知事によって行われる。流動的だが、2園の設置が認められれば移管を実施する。21年度から30年度の移管計画では、幼稚園3園、保育園5園の移管が計画されている。具体的な園名は示していない。今年度、移管園の具体的な選定を行うが、県の設置認可基準に照合すると、幼稚園の民間移管は計画数を下回るが見込まれる。県と協議しながら進めたい。

最後に「子どもたちにとってどのような状況が一番いいのかを第一に考えて進めて欲しい」と要望した。

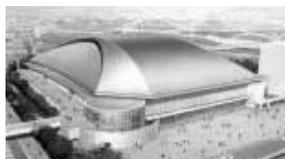
2、各種問題(ネーミングライツ、学校トイレ)のその後について

(答弁は笠井教育次長)

平成17年3月、横浜国際総合競技場が日産自動車をネーミングライツパートナーとして名称を日産スタジアムと変更。5年契約で23億5000万円、年間、4億7000万円の契約が結ばれた。

ネーミングライツ(命名権売却)導入の考えは?

質問 豊田スタジアムは名称を公募したことや広告企業との関係でネーミングライツ導入は困難と以前答弁された。総合体育館は、まだ、名称募集していない。正式名称は豊田市総合体育館とし、収益をあげられる可能性があるのなら、ぜひネーミングライツを導入し、愛称を企業に取得してもらう考えはないか。



H19年4月オープン予定の総合体育館

答弁 名称は市民に、より親しみを持っていただくためにも、市民からの公募により決定する考え。命名権売却は考えていない。

学校トイレはどう変わる?

質問 旧市内は、各トイレに最低1基の洋式化を進めてきた。旧町村地区の学校トイレも早急に改修を進めるべき。

現状およびその改修計画は。

答弁 旧市内は今年度中に完了する。旧町村部の学校は、未整備校が25校あり、小・中合わせて約120基の洋式便器の整備が必要となる。今後順次整備を進める。

質問 昨年12月定例会の学校トイレの全面改修に関する私の一般質問に対し、「より快適なトイレを実現するための新たな整備方針を児童・生徒や教職員の意見も取り入れ検討して、平成18年度以降の実施に向けて取り組みたい」と答弁された。来年度以降の実施に向けた新たな整備方針の検討は進んでいるのか。

答弁 新築トイレは従来のトイレより、広さ、明るさ、快適さなどに十分配慮した設計としている。トイレ改修は、次の段階として「清潔で快適なトイレ」をコンセプトに、モデル事業の実施を来年度から取り組んでいきたい。

ここが聞きたい！ 議員？ 豊田市政？

初めてメールします。私は豊田市花園町に住んでいます。小学1、2年生の子供をもっており、フルタイムで働いています。残業もあり、通勤で片道30分かかります。今、子供は学校終了後学童保育に入っておりますが、学童保育は小学3年生までです。豊田市にはたくさん働くところがありますが、女性が自立して働くには子供の環境として足りないところ、遅れているところがあります。名古屋市では、小学6年生まで学校で預かってくれます。豊田市にはまだありません。昔は近所の交流も盛んで、鍵っ子も安心でしょうが、現在は治安も悪く子供一人で留守番をさせて置けません。何かあってから行動では遅いと思います。保育園でも多数このような意見を聞きました。せめて小学6年生まで安心できるシステムを時代の流れに遅れない豊田にしてください。

コメント メールありがとうございます。ご趣旨、私も同感です。私も豊田市内での放課後児童健全育成事業の充実を求めてきた者として現状が、まだまだ満足できるレベルではないと思っています。しかし、市も今まで設置されていなかったところまでできる限り設置するよう頑張っていることも認めたいと思っています。ただ、当初のレベルがあまりにも低すぎたせいか、なかなか保護者のニーズに追いつけない現状もあると思います。

こんなことを言っただけでは誤解を招くかもしれませんが、本当に小学校6年生まで学校で預かることが適切でしょうか。地域の誰か（世話焼きさん）が面倒を見ることは無理でしょうか。Aさんも言われるように今は、高学年でも友達同士で勝手に遊ぶという時代ではなくなったのでしょうか。

ただ、私は何でもかんでも行政任せということには否定的です。まず個人、そして、家族、それから地域でと。それが、できないのであれば、市、県、国にサポートしてもらおう。これが理想だと思っています。

ます。そうでないと税金がいくらあっても足りないと思います。豊田市の場合は本当に無駄な税金の使い方が多いと思っています。また、現在、市では、学年、保護者の就労に関係なく、地域のすべての子どもたちが放課後の安全な場所を確保できるように、自治体の区民会館や集会所等を活用し、地域の方に運営してもらえるよう検討しています。私は空き教室利用からスタートした現在の放課後事業より、このように地域へ帰す方が、理想的だと思っています。

もう少しお時間ください。私も名古屋のトワイライトスクール等、しっかり勉強してみます。この制度も学童保育に取り組みされている方々からは不評という声も聞きますし。もし機会があれば、一度お会いして、いろいろ意見交換させていただきませんか。お仕事でお忙しいとは思いますが。ちょっと否定的なメールになりましたが、反論も含め、ぜひまた、メールください。今後ともよろしく願いいたします。

9月定例会のおまけ

おかだ耕一議員は、9月定例会の議案に対してただ一人反対したものがある。それは、岸田劉生作「代々木附近の赤土風景」価格7,530万円の取得についてだ。新政クラブの先輩議員2人、共産党議員でさえ、賛成した議案に対してただ一人反対した理由は何か、筆者は話を聞いた。



「代々木附近の赤土風景」

おかだ議員は、「私は今まで『現在の不況下で、高額美術品購入はなかなか市民理解が得られない』として、たびたび美術品の取得には反対してきた。しかし、今回は、景気も底をうち、緩やかながら上昇傾向に向かっているという認識もあり、賛成するつもりでいた」と言う。

また、「委員会質疑での答弁で『岸田劉生の作品は〔麗子洋装ノ図〕1億8,400万円始め4点購入し、今回の風景画を購入し、あとは静物画1点を取得すれば、人物画、役者絵、風景画、静物画と揃い、岸田劉生コレクションが完成する』という答弁を聞き、賛成する気持ちを固めた」と言う。

しかし、自ら委員となった決算審査のなかで「16年度末の収蔵作品数と購入総額が分かり、また、『愛知県美術館のように40年以上の歴史を持ち、5,000点以上の収蔵作品があるところでも美術品収集を続けている。美術館活動というのは3,000点から5,000点の作品を使いまわせばいいというものではない。50年、100年後のために収集を続けていくことが必要』との答弁を聞き、おかだ議員は「このような考えには共感できないと思った」と言う。

おかだ議員が言うには、「現在、豊田市美術館の収蔵作品は絵画を始め多くの作品を国内外に無料で貸し出している。こうし

た交流により、豊田市も他の施設から素晴らしい作品を借用でき、豊田市美術館での企画展、特別展の開催も素晴らしいものになっている。だから、新規購入はもう十分ではないか」と主張する。

そこで豊田市美術館の収蔵用美術品の収集状況がどのレベルにあるか、近隣の市立美術館の状況を調べてみたそうだ。その結果が別表である。

美術館名	収蔵作品数	購入数	購入総額
刈谷市美術館	1,202	158	約5億1,400万円
岡崎市美術館	1,716	614	最近5年間、64点で約9,100万円
豊橋市美術館	美術資料のみ1,202	524	非公開
名古屋市美術館	3,647	1,910	約49億9,600万円
豊田市美術館	2,838	950	約133億6,185万円

これを見れば分かります。おかだ議員は「政令市であり、財政規模で1兆円をこえる名古屋市の美術館でも購入総額は50億円に満たない。豊田市の購入総額があまりにも桁違いに多いことが分かる。また、芸術、文化に造詣の深い方からは、批判を受けるかもしれないが、バブル期に金にものを言わせて海外から高額作品を買い漁り、多くの批判を受けた企業と同じに思えてならない」と指摘する。

そして、最後におかだ議員は「50年、100年後のためにというのなら本当にやるべきことは安心して生活できる社会保障制度の確立と最低限のインフラ整備ではないか」と付け加えた。

皆さんは美術品の取得をどのように思われますか。「市の財政力から考えても許容範囲じゃないの」「芸術のわからん男だ」との声も聞こえてきそうですが、文化、芸術をわかったふりして何も考えていない議員より、おかだ議員の判断の方が良くないですか？

おかだ耕一を支えるカンパは下記へお願いいたします

UFJ銀行 豊田支店
(普通) 1113815
岡田耕一後援会

カンパいただいた方は通帳にはお名前しか表示されません。お礼を申し上げたいため、ご一報下さるようお願い致します。おかだ耕一後援会としては、おかだ耕一議員の考え、活動に賛同いただき、1,000円から1万円くらいの浄財を広くいただくことができましたらありがたいと思っています。※政治資金規正法により、おかだ耕一後援会は、企業・労働組合等の団体からの寄付は受けられません。

市政に関する様々な疑問、質問、要望、情報等お気軽にお寄せください。

TEL/090-1752-7529 (こ-いち)
http://www.ko1.org/
E-mail:okada@ko1.org

100%古紙再生紙を使用しています。2100